



国土交通省

営繕工事の週休2日取組状況を公表 85%以上で月単位の週休2日を達成

7月11日、国土交通省は、営繕工事における「週休2日促進工事」の取組状況をとりまとめました。

それによると、月単位の週休2日に取り組む週休2日促進工事のうち、2024年度に完了した工事28件中24件(85.7%)で月単位の週休2日を達成しました。達成できた要因としては「受発注者間で円滑な協議が実施されたため」「適正な工期設定がなされたため」「各工事間の調整が適切に実施されたため」が多く挙げられています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/eizen02_hh_000304.html



建設業振興基金

建設キャリアアップシステム CCUS応援団専用ホームページを開設

7月1日、建設業振興基金は、CCUS応援団専用ホームページを開設しました。

同ホームページでは、CCUS登録事業者・技能者を応援するために、スキルアップ、業務支援、ライフサポート等のサービスで各種特典が提供されており、カテゴリー別、都道府県別に確認することができます。なお、CCUS応援団の特典は、CCUS登録技能者向けスマホアプリ「建キャリア」からアクセスすることも可能です。

<https://ccus-sqd.ccus.jp/index>



日本建設業連合会

グリーンインフラの活用推進 建設業実務者向けハンドブック作成

7月7日、日本建設業連合会は、建設業実務者向けグリーンインフラハンドブックを作成しました。

グリーンインフラは、自然の持つ多面的な機能や仕組みを活用することで、地域の課題解決に貢献し、社会・経済・環境の側面から利益を提供する、持続可能で魅力ある国土・地域づくりの取組です。同書は、グリーンインフラの活用推進に必要な情報を整理するとともに、「流域治水」「緑化」の2テーマについて、実際の取組事例を含め詳細な解説を行っています。

<https://nikkenren.com/doboku/gijutsu/article.html?token=20250703135636jVQrjbsPqCjOPhetKGorxICdursCKLp>



全国建設業協会

生産性向上アンケートの結果を公表 施工管理アプリ、電子黒板、ICT施工が5割超

7月1日、全国建設業協会は、会員企業を対象に行った生産性向上の取組に関するアンケート結果を公表しました。

それによると、生産性向上のための取組は、「施工管理アプリの活用」63.3%、「電子黒板の活用」60.2%、「ICT施工」50.2%が上位となっています。また、ICT施工に対する今後の取組姿勢については、「積極的に取り組む」が40.3%、「状況によっては取り組みたい(準備を進めたい)」が37.1%となり、関心の高さがうかがえます。

<https://www.zenken-net.or.jp/news/0701/>



建設経済研究所

建設経済モデルによる建設投資の見通し 政府分野・民間非住宅分野は堅調に推移

7月11日、建設経済研究所と経済調査会は、『建設経済モデルによる建設投資の見通し』(2025年7月)を公表しました。

それによると、2025年度の建設投資は、民間住宅分野が伸び悩むものの、政府分野・民間非住宅分野は堅調に推移し、名目値ベースでは75兆4,500億円(前年度比2.5%増)、実質値ベースでは前年度と同水準(同0.7%増)と予測しています。また、2026年度は民間住宅分野が持ち直し、名目値ベース・実質値ベースとも前年度比で増加と予測しています。

https://www.rice.or.jp/regular_report/forecast.html/

東日本建設業保証

広報誌『EAST TIMES』2025夏号を発行

弊社では、社会資本整備の必要性や建設産業に対する理解を広めることを目的に、広報誌『EAST TIMES』を季刊で発行しています。

今号では「かなえる」をキーワードに、断熱・気密・換気システムを駆使してエネルギー消費量を抑え、快適な住環境も地球環境への配慮も実現する省エネ住宅「パッシブハウス」の設計メソッドや付加価値、受注現場で独自の自然共生活動「エコミーティング」を展開する建設企業などを紹介しています。

<https://www.ejcs.co.jp/report/east-times/>

